

# この人

日本酒の魅力を伝える「きき酒師」の実力を競う「第二回世界きき酒師コンクール」で酒屋を経営。四十歳の中部地区予選を勝ち抜い



「二〇〇〇年の第一回大会は予選で敗退しました。六年間、努力を重ねてきた。リベンジを果たしほっとします」  
— 今大会に向けて努力した

— 代表に選ばれた感想を聞かせてください。

## 世界きき酒師コンクール 中部ブロック代表

お詔さん (静岡市)  
鈴木 鈴

点は。

「日本酒は十人十色。お客さまに合わせた酒を勧める仕事一つ一つの積み重ねでここまで来ることができました。お客さまに励まされ、育ててもらいました」

— 準決勝に向けて意気込みを。

「静岡の酒は地元消費量が極めて少ない。これほどおいしい酒があることを県民をはじめ、日本全国、世界に広く知ってほしいんです。日本酒を愛する気持ちは誰にも負けません。世界一を目指して頑張ります」

◇ 準決勝では日本酒を使ったカクテルづくりも。地元名産物を使った秘策を用意し、準備万端。